

大学院医学研究科医学系専攻博士課程

研究科長 松 藤 千 弥

1956年、私立大学としては初の大学院医学研究科を設置して以来、医学に関する理論及び応用を教授研究し、その深奥を極めることによる文化の進展に寄与するとともに、専攻分野の研究指導者の養成の中心的役割を担ってきた。2007年4月より大学院の目的と理念を改め、臨床医学を中心に基礎医学および社会医学をも含めて優れた研究者養成を主眼とし、自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と、それに加えて医学の教育に求められる多様な指導力を養い、その基礎となる豊かな学識を深めることを目的とし、「最適の医療を提供するための臨床医学を支える研究者の育成と将来を担う医師の育成に携わる優れた指導者の養成」を理念とした。以下、大学院の現状について述べる。

1. 2018年度入学選抜および入学生

1) 入学試験

第1次募集：

出願期間：2017年8月28日(月)～9月16日(土)

試験日：2017年9月30日(土)に外国語(英語)、小論文、面接が行われた。

応募者22名・受験者22名・合格者21名・入学者21名

第2次募集：

出願期間：2017年12月25日(月)～2018年1月13日(土)

試験日：2018年1月27日(土)に外国語(英語)、小論文、面接が行われた。

応募者20名・受験者20名・合格者20名・入学者20名

2) 入学生および派遣科

2018年度の入学者は1名の転入学者を入れ、合計42名(内、社会人9名)となった。また、大学院生の総数(1～4年)は153名となった。2018年度大学院1年生の氏名および派遣科、再派遣科は一覧の通りである。(表1)

3) がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の開始が筑波大学を代表とする連

携大学のひとつとして文部科学省がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」に加わり、がん研究者の人材養成を推進するため、2018年度より、(1)がんゲノム医療人養成、(2)小児・AYA・希少がん専門医療人養成、(3)包括的ライフステージサポート医療人養成の3コースを設け、計13名の大学院生が受講登録をした。

2. 2018年度の主な行事・カリキュラム

1) 2018年度大学院の入学式は2018年4月2日(月)に行われ、その後約4ヶ月にわたり共通カリキュラム必修科目が実施され、選択科目も翌年2019年1月26日(土)まで実施された。共通カリキュラムのうち、社会人入学生に配慮し、授業を夕方以降や土曜日、e-learningシステムを利用して行った授業は以下の通りである。

- ・医学教育学
- ・医学研究法概論
- ・医の倫理
- ・医療統計学
- ・疫学・臨床研究
- ・英語論文執筆の実践的方法論
- ・がんプロ e-learning がんゲノム医療
- ・がんプロ e-learning 小児・AYA・希少がん
- ・がんプロ e-learning ライフステージがん
- ・大学院生研究発表会

2) 選択カリキュラムは、2019年3月末日まで各派遣科および再派遣科において実施され、それぞれの研究施設において研究指導が行われた。

3) 2018年7月20日(金)に、学内講師による大学院特別講義を開催した。(表2)

4) 2018年7月20日(金)に、1年生を主とした大学院生、大学院委員会委員および共通カリキュラム担当教員が集まり、カリキュラム内容の意見交換の場である大学院特別セミナーを2号館講堂で開催した。

5) 大学院生研究発表会が2018年11月17日(土)と12月15日(土)の計2回、第1回目は大学1号

館6階講堂にて、第2回目は大学1号館5階講堂にて開催された。第1回に8名、第2回に11名の計19名の研究発表が大学院生により行われ、活発な質疑応答が行われた。

6) 大学院医学研究科医学系専攻博士課程共通カリキュラムの検証を行い、以下の内容を導入した。

(1) 「医の倫理」のコマ数を8コマから9コマに増やし、ヒトゲノム・遺伝子解析研究や人を対象とする医学系研究に関する倫理指針についての講義内容を拡充した。また、「医学研究法概論」では履修者へレポートを課し、出席数と双方が合格基準に満たした場合に単位を付与することとした。

(2) がんプロフェッショナル事業（関東がん専門医療人養成拠点）」に加入する大学院生及びがんの研究を希望している大学院生を対象とし、共通カリキュラム選択科目に「がんゲノム医療」、「小児・AYA・希少がん」、「ライフステージがん」に関するe-learning授業を導入した。また、がんプロフェッショナル事業（関東がん専門医療人養成拠点）」加入の大学院生は、e-learning授業に加えて、「大学院連携がんチーム医療ワークショップ」への参加を必要とした。

3. 2018年度におけるその他の主な審議・報告事項

1) リサーチ・アシスタント51名、ティーチング・アシスタント27名を採用承認した。

2) 業務目的の診療行為実施に伴い、附属病院リサーチ・レジデントとして69名と雇用契約を結んだ。

3) 研究科教員の任用

梅澤慶紀教授：授業細目「皮膚科学」（2018年4月1日付）

石渡賢治教授：授業細目「熱帯医学・医動物学」（2018年8月1日付）

4) 大学雇用のポスト・ドクトラル・フェロー3名より継続申請があり、採択した。

5) 2018年度における学位取得者は大学院修了による25名、論文提出による30名の計55名であった。

6) 論文提出資格取得のための外国語試験を2回実施した。第1回（通算61回）試験は5月26日（土）に行い、応募者32名、受験者31名、合格者25名であった。第2回（通算62回）試験は10月27日（土）に行い、応募者38名、受験者38名、合格者32名であった。

7) 東京慈恵会医科大学学外共同研究費補助とし

て、10件を採択した。（表3）

8) 東京慈恵会医科大学同窓会振興資金による海外派遣助成に19名から申請があり、17名（大学院生14名、助教3名）を同窓会に推薦した。（表4）

9) 東京慈恵会医科大学大学院研究助成金を25名に交付した。（表5）

10) 東京慈恵会医科大学医学研究科研究推進費について、2018年度は継続申請2件と新規申請に応募のあった3件のうち2件、計4件を採択した。（表6）

11) 東京慈恵会医科大学萌芽的共同研究推進費について、2018年度は応募件数14件のうち5件を採択した。（表7）

12) 第4回東京慈恵会医科大学伊達会賞受賞者を2017年度学位取得者から3名選出した。（表8）

13) 日本学生支援機構第一種奨学金返還免除内定候補者選考に関して、在学生1名を採用時返還免除内定候補者として推薦することを承認した。

14) 学位申請の運用について、以下4点の変更を承認した。

(1) システムティック・レビューの取扱いについて、大学院委員会で確認の上、十分価値があると認められた場合には、学位論文として受理する。

(2) 短報（Letter, Correspondence, Short report）は原則として学位論文として除外するが、大学院委員会で十分価値があると認められた場合には、受理する。

(3) 学位論文が原著論文に該当するか明確でない場合、その確認手続きとして、別刷り、投稿原稿又は論文概要を大学院委員会宛に提出することで、事前確認依頼をできる

(4) Thesis（学位審査用論文）の表記は止め、審査用論文の表現に統一する

15) 学位申請時提出資料について、2018年12月21日申請分より、「転載許諾証明書」を削除し、「学位論文（主論文）の著作権処理状況報告書」、「学術リポジトリへの学位論文登録申請書」、「研究倫理に関する対応確認書」を追加した。

16) 国立がん研究センター社会と研究健康センター健康支援研究部長の松岡 豊氏を2018年11月1日付で連携大学院教授として任用することとした。担当する授業細目として「ライフスタイル医学」を新設し、授業科目「社会健康医学」内に組み込むことが承認された。

17) 療養休職、育児休職、産前・産後休暇等、やむをえない理由から研究に従事できない期間について、単位取得者より申請があった場合、大学院委員会承認のもと、その期間を1ヶ月単位で延長するこ

とが承認された。

18) 大学院学生の研究指導に関する協定一覧を作成した。今後、変更時には大学院委員会で確認を行うこととした。

19) 本学の大学院生向けの労働契約手順マニュアルを新規作成し、新入生への配布およびイントラネットへデータ掲載を行った。

20) 看護学専攻博士前期課程・後期課程の新設に伴い、「博士課程」、「修士課程」で使い分けていた関連規程内の名称を原則「医学系専攻」、「看護学専攻」へ変更した。また、医学系専攻と看護学専攻とで単位認定に要する基準時間を統一した。

21) 選択カリキュラムシラバスに「コマ数」、各

授業科目の「準備学習内容」、「授業回数と担当教員」、「評価方法とその配分」を追加記載することとした。

22) 2016年10月に実施された大学基準協会認証評価以降、中央教育審議会「3ポリシーの策定及び運用に関するガイドライン」に則り、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの見直しを毎年行うこととしている。今年度はカリキュラムポリシー内、博士課程教育の特徴である標準修業年限の短縮については、「3年以内に修了の要件を満たした場合については、申請に基づいて大学院委員会が審議し、修業年限を3年間にすることがある」と改定した。

表1 1年生名簿

番号	氏名	派遣科	再派遣科	
1	佐々木諒子	呼吸器内科学	国立がん研究センター先端医療開発センター柏キャンパス免疫療法開発分野	
2	里井 義尚	地域医療プライマリケア医学		社会人
3	岩田 啓芳	地域医療プライマリケア医学		
4	尾形 仁	小児科学	遺伝子治療研究部	
5	白石めぐみ	放射線医学		
6	武井 淳	脳神経外科学	悪性腫瘍治療研究部	
7	小田川太一	熱帯医学・医動物学		
8	大村 有加	糖尿病・内分泌内科学	東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野	
9	山崎 龍一	精神医学		
10	浮地里佳子	糖尿病・内分泌内科学	神経科学研究部	
11	辻 雄介	皮膚科学	慶應義塾大学スポーツ医学総合センター	
12	杉光 一成	分子診断・治療学		社会人
13	横溝 陵	産婦人科学		
14	布間 寛章	麻酔科学・侵襲防御医学	神経科学研究部	
15	伊藤 晶彦	呼吸器内科学		
16	守田 真	分子疫学		社会人
17	多田 剛志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	京都大学医学研究科医学専攻感覚運動系外科学	
18	大瀬戸宏綱	循環器内科学		
19	寺内 稜	眼科学		
20	松田 麻未	臨床検査医学		社会人
21	大井 悠平	循環器内科学		
22	守屋 正道	細胞・統合神経科学		社会人
23	齊藤 弥積	腎臓内科学		
24	佐々木峻也	腎臓内科学		
25	谷合 智彦	消化器外科学	遺伝子治療研究部	
26	森田 康平	脳神経外科学		社会人
27	水野 孝昭	包括がん医学		社会人
28	山口 純	整形外科	北海道大学大学院研究院専門医学系部門機能再生医学分野整形外科教室	
29	横山 正明	循環器内科学		
30	イリスウィー ゲルケール	形成外科学		
31	今泉 佑太	消化器外科学	生化学講座	
32	大戸亜沙子	神経内科学	再生医学研究部	
33	高村 毅	腎臓内科学	再生医学研究部	
34	今成 英司	分子疫学		
35	堀口 明子	感染・化学療法学		社会人
36	渡辺 翔	呼吸器内科学	国立がん研究センター東病院先端医療開発センター	
37	渡邊 貴史	放射線医学		
38	福島宗一郎	血管外科学	再生医学研究部	
39	渡瀬智佳史	分子腫瘍学		社会人

40	土井 紀輝	人体病理学・病理形態学	
41	平林 源希	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	再生医学研究部

表2 共通カリキュラム特別講義

科目	日付	時間	場所	講師
特別講義Ⅰ	7月20日	11時30分～13時00分	5階講堂	玉利真由美 教授
特別講義Ⅱ	7月20日	14時00分～15時30分	5階講堂	中野 匡 教授
特別講義Ⅲ	7月20日	15時40分～17時10分	5階講堂	渡部 文子 教授

表3 学外共同研究費補助金採択

	所属	研究代表者	研究課題	補助額
1	解剖学講座	岡部 正隆 教授	Tokyo Vertebrate Morphology Meeting (第8回)	35万円
2	細胞生理学講座	南沢 享 教授	筋肉の構造と機能の維持と調節の統合的理解をめざして	35万円
3	分子生物学講座	松藤 千弥 教授	ポリアミンと核酸の共進化 (第17回)	35万円
4	ウイルス学講座	近藤 一博 教授	疲労, 慢性疲労, うつ病の機構解明と検査法および予防法の確立	35万円
5	熱帯医学講座	嘉糠 洋陸 教授	第5回東京ベクターエンカウンター「病原体媒介節足動物研究の最前線」	35万円
6	基盤研究施設 (分子細胞生物学)	馬目 佳信 教授	国際密輸および違法飼育押収スローロリス属の識別法に関する会議～希少野生動物保護の国際協力～	35万円
7	臨床検査医学講座	松浦 知和 教授	肝疾患患者における肝線維新生マーカーTGF-β LAP断片の解析	35万円
8	臨床検査医学講座	中田 浩二 教授	胃上部癌, 食道胃接合部癌に対する術後QOL向上に寄与する胃切除術式, 再建法に関する研究 (当該研究に係る研究会議)	25万円
9	臨床医学研究所	佐々木 敬 教授	Glycemic Index (GI) の共通プロトコルの作成, 並びにそれに基づく食後高血糖の予測因子に関する研究	25万円
10	人間科学教室	三崎 和志 教授	生命倫理教育の質的向上の可能性の探究	12万円

表4 同窓会振興資金による海外派遣助成推薦者

	氏名	所属	職名	国名	派遣先 (研究機関, 学会名)	研究 (発表) 課題等
1	福島宗一郎	血管外科学 ／再生医学 研究部	大学院1年	スペイン	ESVS 32nd Annual Meeting	Usefulness of an angioscope as a diagnostic and therapeutic tool during endovascular approach for aortic disease
2	羽村 凌雅	消化器外科学 ／遺伝子 治療研究部	大学院2年	アメリカ	Clinical Congress 2018, American College of Surgeons	The effectiveness of adjuvant chemotherapy in patients with Stage I pancreatic cancer based on UICC classification; multi-center database retrospective analysis
3	馬場 俊輔	小児科学 ／細胞生理学 講座	大学院2年	アメリカ	アメリカ心臓病学会 (AHA)	モノクロタリン誘発肺高血圧における小胞体ミトコンドリア繫留蛋白質のダウンレギュレーション
4	松谷 大輔	糖尿病・内 分泌内科学	大学院2年	アメリカ	第78回米国糖尿病学会	2型糖尿病患者におけるカナグリフロジンが左室拡張能に及ぼす影響の検討

5	岡島 英梨	循環器内科学	大学院 2 年	台湾	Asia Pacific Heart Rhythm Society 2018	心房細動カテーテルアブレーション後の無症候性脳梗塞発症頻度および梗塞巣の特徴について、クライオバルーン使用群とホットバルーン使用群の 2 群間での比較検討
6	鈴木 隆介	整形外科科学 ／東海大学 農学部バイオサイエンス学科	大学院 3 年	カナダ	13th International Symposium on the Maillard Reaction	グリコールアルデヒドは骨芽細胞内の終末糖化産物の蓄積によって小胞体ストレスを介した細胞死を誘導する
7	西村 尚	消化器内科学	大学院 3 年	アメリカ	米国癌研究会議 (AACR)	Vascular endothelial growth factor receptor 2 targeted photodynamic therapy
8	竹田 裕介	糖尿病・内分泌内科学	大学院 3 年	アメリカ	第 78 回米国糖尿病学会	低分子量 G 蛋白 Rho-kinase と動脈硬化進展のメカニズム
9	高石 慎也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学／分子免疫学研究部	大学院 3 年	ドイツ	EAACI Congress 2018	Evaluation of the safety of transgenic rice seeds developed for immunotherapy against Japanese cedar pollinosis
10	齋藤那由多	呼吸器内科学	大学院 4 年	フランス	ヨーロッパ呼吸器学会	ラミン B1 発現低下に伴うミトコンドリア恒常性の調節不全が COPD 病態での細胞老化亢進に関与する
11	木村 悠	循環器内科学	大学院 4 年	アメリカ	アメリカ心臓病学会 (AHA)	高脂肪食マウスモデルを用いた、ナトリウム利尿ペプチドの脂肪組織に対する作用についての検討
12	大橋謙之亮	糖尿病・内分泌内科学	大学院 4 年	スペイン	第 20 回ヨーロッパ内分泌学会 (ECE2018)	High glucose stimulates mineralocorticoid receptor activity of retinal Müller glia cell
13	三輪 沙織	小児科学／遺伝子治療研究部	大学院 4 年	スイス	European Society of Gene and Cell Therapy	ムコ多糖症 II 型に対する AAV9 を用いた経静脈的遺伝子治療の神経病変への効果
14	勝俣 陽貴	腎臓内科学／東京女子医科大学泌尿器科	大学院 4 年	アメリカ	米国移植学会 (American Transplant Congress 2018)	In vitro α -galactosylceramide stimulation Expands CD4 ⁺ CD25 ⁺ Foxp3-regulatory T cell precursors in murine thymocytes
15	荒川翔太郎	整形外科科学講座	助教	カナダ	13th International Symposium on the Maillard Reaction	ヒト海綿骨中に蓄積する終末糖化産物 AGEs の網羅的解析および血清、尿との相関性解析
16	今村麻佐絵	形成外科学講座	助教	デンマーク	Aalborg University での研究成果発表	・顔面骨・骨折の有限要素法を用いた骨解析 ・表情筋のモーションキャプチャーや筋電図を用いた筋解析 ・骨解析と筋解析の統合によるより精度の高い顔面骨評価法の確立
17	堀内 英華	内視鏡医学講座	助教	アメリカ	Digestive Disease Week 2018	The competency assessment for gastric endoscopic submucosal dissection using an endoscopic part-task training box

表5 研究助成金採択

	学年	氏名	派遣科	再派遣科	研究課題
1	2	佐々木麻里子	分子腫瘍学		がんの遺伝子変異に基づいた合成致死治療法の開発
2	2	桑田 剛	分子診断・治療学		大腸癌細胞株 HCT116, DLD-1, SW480 における CRF 関連ペプチドの生物学的意義の検討
3	2	保坂 悠介	呼吸器内科学		COPD 病態におけるシャペロン介在性オートファジーの役割に関する検討
4	2	高田 直樹	消化器外科学	遺伝子治療研究部	胆嚢癌に対する NF- κ B 阻害剤併用放射線療法の検討
5	2	永井 洋介	糖尿病・内分泌内科学		糖尿病腎症における Rho-kinase のアイソフォーム別機能分担の解明
6	2	羽村 凌雅	消化器外科学	遺伝子治療研究部	膵臓癌におけるライソゾーム酵素の制御と新規治療法の開発
7	2	松野 博優	神経内科学	再生医学研究部	筋委縮性側索硬化症に対する SMN による治療効果の検討
8	2	小林 大晃	熱帯医学・医動物学		芽殖孤虫の生物学的・分子学的解析と芽殖孤虫症の治療法の検討
9	2	竹内 理華	器官・組織発生学	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	顎顔面口腔領域の発生における Shh シグナルの役割
10	2	伏見 淳	呼吸器・乳腺・内分泌外科学	基盤研究施設（分子細胞生物学）	乳房石灰化の生成機序の解明
11	3	市村 秀俊	熱帯医学・医動物学		病原体媒介節足動物の吸血宿主馴化における脳腸相関の検討
12	3	鈴木 隆介	整形外科	東海大学農学部バイオサイエンス学科	筋骨格筋細胞に与える終末糖化産物の影響の検討
13	3	奥山 舞	小児科学	分子疫学研究部	食物アレルギーコホートにおける血清 sPD-1, sPD-L1, sPD-L2 レベルと臨床症状の検討
14	3	斎藤 雄弥	分子疫学		小児急性リンパ性白血病 (ALL) におけるステロイド感受性に関わる遺伝子多型の検討
15	3	安藤 隆	臨床検査医学		肺炎球菌の検出状況と各種抗菌薬に対する感受性の経年的推移
16	3	岩橋めぐみ	小児科学	国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部	先天性甲状腺機能低下症の原因遺伝子 PAX8 における分子遺伝学的解析
17	3	山川 貴史	腎臓内科学	東京女子医科大学泌尿器科	移植モデルを用いた拒絶反応および免疫寛容の病態解析
18	3	横山 志保	消化器内科学	生化学講座	肝癌における DYRK2 を介した分子メカニズム機構の解明
19	3	古橋 広人	消化器内視鏡診断治療学		消化器悪性腫瘍に対する化学療法の有効性および副作用発生と腸内細菌叢との関連性に関する研究
20	3	藤本 俊成	腎臓内科学	再生医学研究部	薬剤誘導細胞除去システムを用いた異種間での in vivo 腎臓再生の検討
21	3	石川 陽平	分子疫学		運動と血中キヌレニンの関係分析
22	3	杉山 佳史	地域医療プライマリケア医学		プライマリ・ケア現場における飲酒習慣と患者複雑性の関連：横断研究

23	3	矢島 愛美	細胞・統合神経科学		慢性痛成立における下行性疼痛制御系の役割
24	3	吉田 知彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	再生医学研究部	難聴モデルマウスの作成と解析
25	3	松井 寛昌	消化器内視鏡診断治療学		食道アカラシア症における共焦点レーザー内視鏡による消化管神経叢観察に関する検討

表6 医学研究科研究推進費採択者

(新規申請)

	申請者	授業細目名	研究課題	年次計画	申請額／千円	採択額／千円
1	柳澤 裕之	環境保健医学	必須微量元素亜鉛の不適切な摂取-亜鉛欠乏あるいは亜鉛過剰に起因する間質性腎症進展の機序	1 / 2年	3,000	3,000
2	岡野ジェイムス洋尚	再生医学	ヒト iNeuron を利用した ALS の病態解析と核酸医薬による新規治療戦略の開発	1 / 2年	3,000	3,000

(継続申請)

	申請者	授業細目名	研究課題	年次計画	申請額／千円	採択額／千円
1	岡部 正隆	解剖学	妊娠中毒症原因遺伝子 Gcm1 の細胞生物学的機能の解明と哺乳類進化における役割の検討	2 / 2年	3,000	3,000
2	近藤 一博	ウイルス学	認知症を標的とした疲労による老化促進機構の解明と予防法の開発	2 / 2年	3,000	3,000

表7 萌芽的共同研究推進費採択者

研究組織			研究テーマ	助成金額(千円)
研究代表者		共同研究先		
伊藤 大介	外科学講座	生化学講座 遺伝子治療研究部	大腸癌を標的とした次世代エピソードティックドラッグの開発研究	2,000
福田 智美	耳鼻咽喉科学講座	解剖学講座 悪性腫瘍治療研究部	シングルセントランスクリプトームを用いた中耳真珠腫発症関連遺伝子の網羅的解析	2,000
吉田 彩舟	生化学講座	外科学講座 基盤研究施設(分子細胞生物学)	大腸におけるがん幹細胞化を誘導する新規分子の探索	2,000
白井 祥睦	外科学講座	基盤研究施設(分子遺伝学) 遺伝子治療研究部	細胞特異的 RNA 干渉による抗腫瘍効果誘導法の開発	2,000
栗原 渉	耳鼻咽喉科学講座	基盤研究施設(分子遺伝学)	CRISPR/Cas9 システムを用いた内耳ワンステップコンディショナルノックアウト	2,000

表8 第4回東京慈恵会医科大学伊達会賞受賞者

氏名	学位番号	学位取得日	論文名	雑誌名
中川 良	甲1049号	2017年11月22日	miR-425 regulates inflammatory cytokine production in CD4 ⁺ T cells via N-Ras up-regulation in primary biliary cholangitis. (miR-425 は N-Ras を介し原発性胆汁性胆管炎の CD4 ⁺ T 細胞の炎症性サイトカイン産生を制御する)	Journal of Hepatology
鳴井 亮介	甲1058号	2018年2月14日	Incidence and factors associated with the occurrence of pulmonary vein narrowing after cryoballoon ablation. (クライオバルーンアブレーション後に生じる肺静脈狭小化に関与する因子についての検討)	Circulation Arrhythmia and Electrophysiology
小林 賢司	甲1066号	2018年2月28日	Involvement PARK2-mediated mitophagy in idiopathic pulmonary fibrosis pathogenesis. (PARK2 介在性マイトファジーによる特発性肺線維症病態の制御)	Journal of Immunology